

一般国道1号
しまだかなや
島田金谷バイパス
(道路事業)

説明資料

平成28年8月1日

中部地方整備局
浜松河川国道事務所

目 次

1. 一般国道1号 ^{しまだかなや} 島田金谷バイパスの事業概要	
(1) 事業目的	P 1
(2) 計画概要	P 2
2. 評価の視点(概要)	
(1) 事業の必要性等に関する視点	P 3
① 交通渋滞の緩和	P 3
② 大井川渡河部の交通容量確保	P 3
③ 高速道路のアクセス性向上による物流活動への支援	P 4
④ 医療施設への救急搬送時間の短縮	P 4
⑤ ストック効果事例	P 5
3. 事業の進捗及び見込みの視点	P 6
4. 県・政令市への意見聴取結果	P 6
5. 対応方針(原案)	P 6

1. 一般国道1号島田金谷バイパスの事業概要

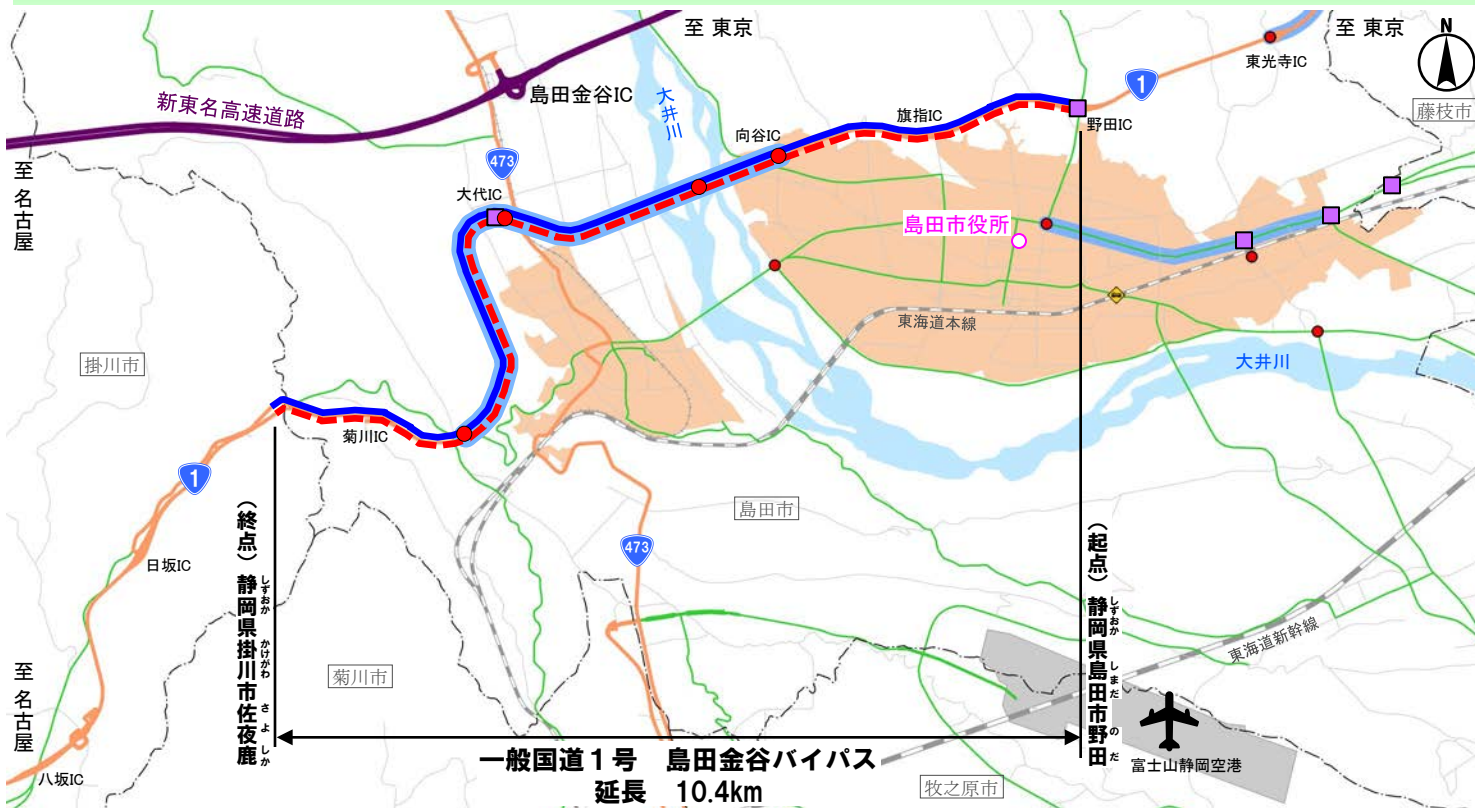
(1) 事業目的

しまだかなや しずおかけんしまだしのだ かけがわしさをよしか

一般国道1号島田金谷バイパスは、静岡県島田市野田から掛川市佐夜鹿に至る延長10.4kmのバイパスであり、交通容量の確保による交通渋滞の緩和、並行する県道等の交通円滑化を目的に計画された道路です。

国道1号島田金谷バイパスの大井川渡河部付近では、渋滞箇所が点在しており、通勤時間帯を中心に渋滞が発生すると共に、並行する大井川渡河部においても混雑が発生しており、本事業は課題解決のために4車線化整備をすることで、島田市街地や大井川渡河部の交通混雑の緩和、沿線地域における物流の効率化等への寄与を見込んでいます。

島田金谷バイパスの全体位置図



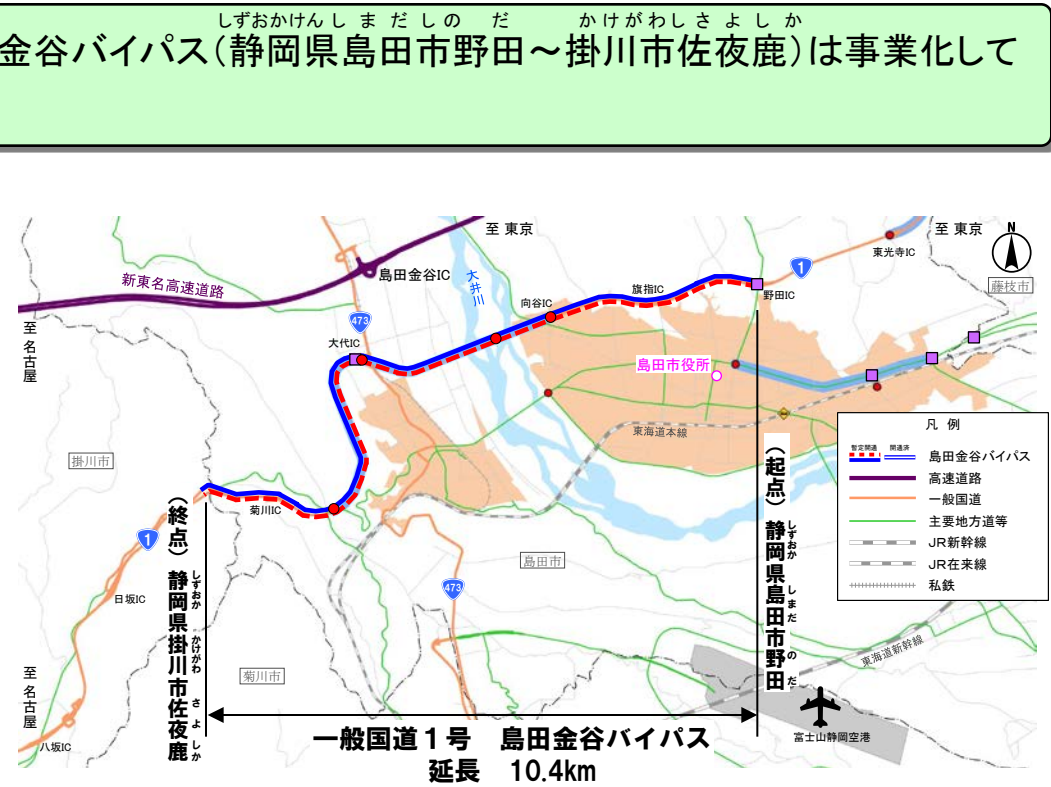
凡例	
	暫定開通
	開通済
	島田金谷バイパス
	高速道路
	一般国道
	主要地方道等
	JR新幹線
	JR在来線
	私鉄
	主要渋滞箇所
	主要渋滞区間
	事故危険区間
	人口集中地区(DID)

1. 一般国道1号島田金谷バイパスの事業概要

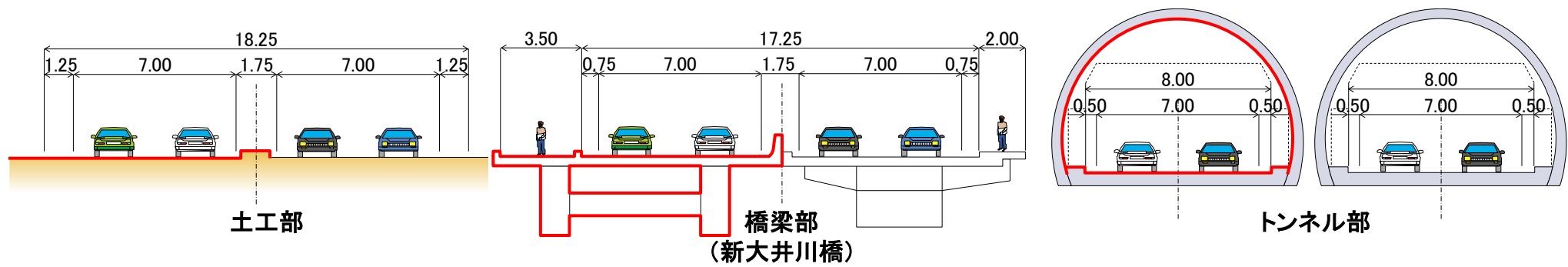
(2) 計画概要

昭和55年度に全線暫定2車線開通し、平成24年度に島田金谷バイパス(静岡県島田市野田～掛川市佐夜鹿)は事業化しています。

事業名	一般国道1号 島田金谷バイパス
道路規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
都市計画決定	昭和45年度
事業化	平成24年度
用地着手年度	平成26年度
工事着手年度	平成26年度
延長	10.4km
全体事業費	240億円
B/C	5.6



標準断面



2.評価の視点(概要)【事業の必要性等に関する視点】

①交通渋滞の緩和

1)事業を巡る社会情勢等の変化

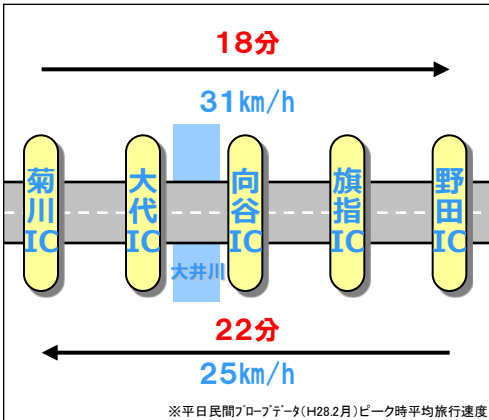
●大井川渡河部付近(向谷IC~大代IC)では朝のピーク時を中心に速度低下が著しく、慢性的な渋滞が発生。

2)事業の投資効果

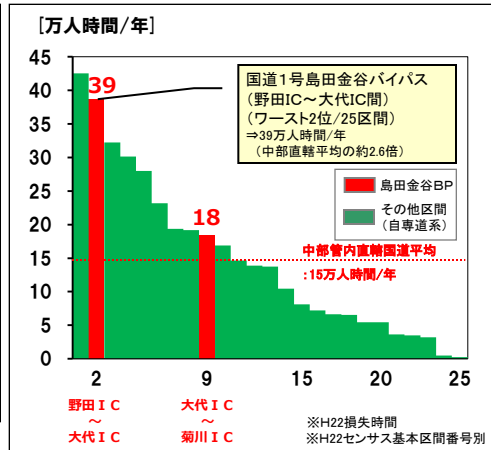
○島田金谷バイパスの4車線整備により、野田IC~菊川ICのピーク時の旅行時間が約7~10分の短縮が見込まれる。

1)事業を巡る社会情勢等の変化

【島田金谷バイパスの交通状況(旅行速度)】



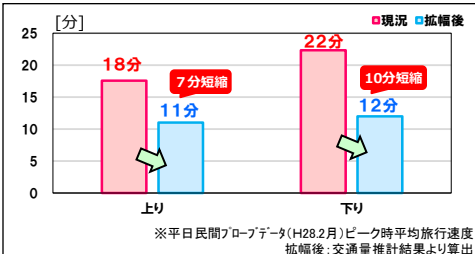
【中部管内直轄国道損失時間】



2)事業の投資効果

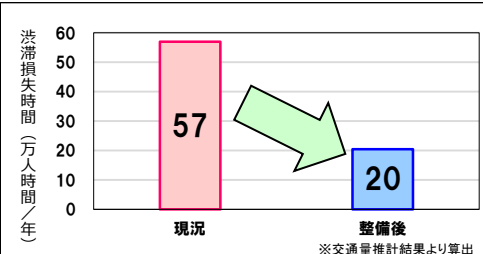
【島田金谷バイパス※の所要時間変化】

※野田IC~菊川IC間



【島田金谷バイパス※の損失時間】

※野田IC~菊川IC間



②大井川渡河部の交通容量確保

1)事業を巡る社会情勢等の変化

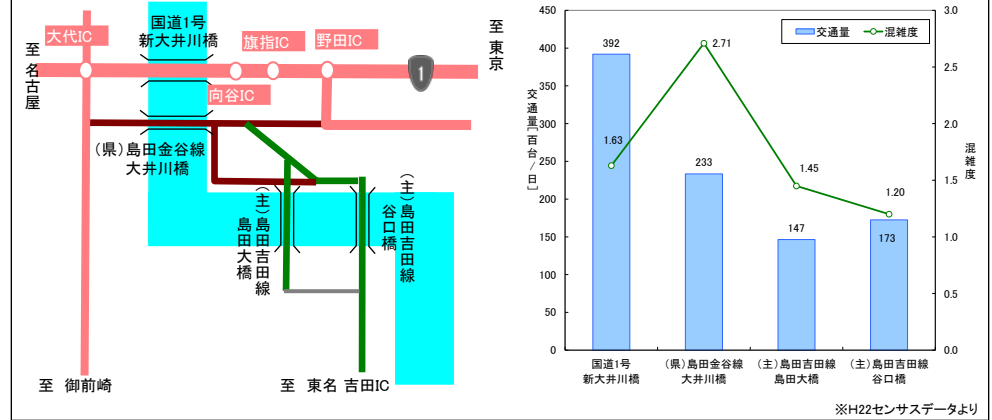
●大井川渡河部では国道1号島田金谷バイパスの新大井川橋及び並行する大井川橋や島田大橋、谷口橋等の渡河部で容量が慢性的に不足し、混雑度1.0を超過する渋滞が発生。

2)事業の投資効果

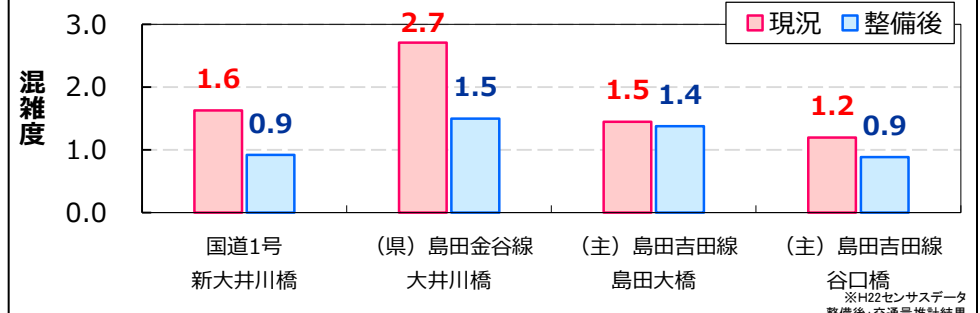
○島田金谷バイパスの4車線拡幅により、他の渡河部から島田金谷バイパスへの交通転換が図られ、大井川渡河部の渋滞緩和が図られる。

1)事業を巡る社会情勢等の変化

【大井川渡河部の混雑度】



2)事業の投資効果



2.評価の視点(概要)【事業の必要性等に関する視点】

③ 高速道路のアクセス性向上による物流活動への支援

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

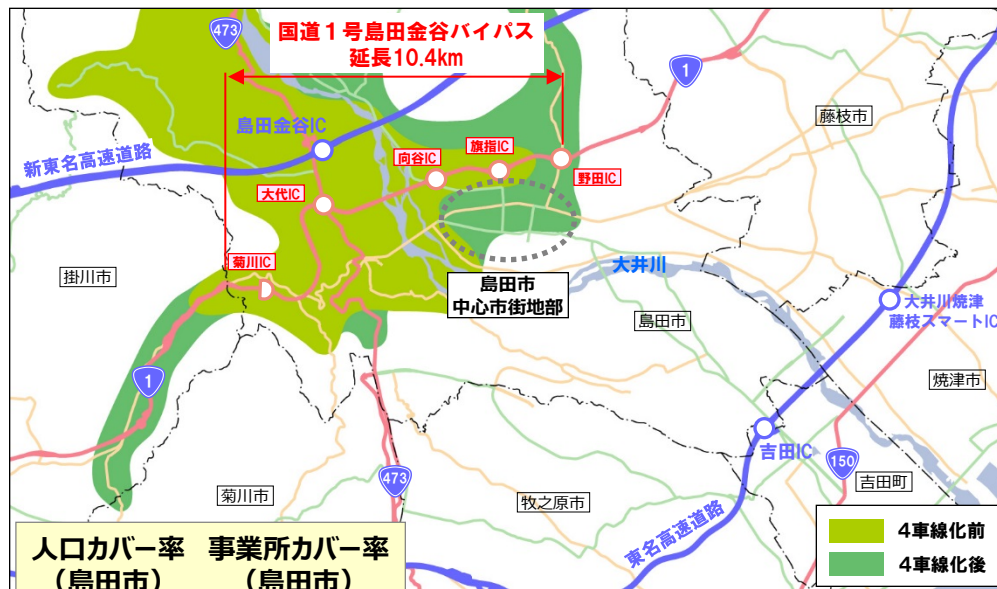
- 島田金谷バイパスの速達性・定時性の欠如により、沿線立地企業のジャスト・イン・タイムの物流活動を担保できていない。

2) 事業の投資効果

- 島田金谷バイパスの4車線拡幅により、新東名高速道路島田金谷ICのアクセス圏域が大幅に拡大し、高速道路利便性の向上が期待。
- ジャスト・イン・タイムの物流形態を基本とする物流関連企業では、定時性向上による企業活動の効率化が期待。

1) 事業の投資効果

【島田金谷バイパス4車線化に伴う新東名高速道路島田金谷ICの15分圏域の変化】



④ 医療施設への救急搬送時間の短縮

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

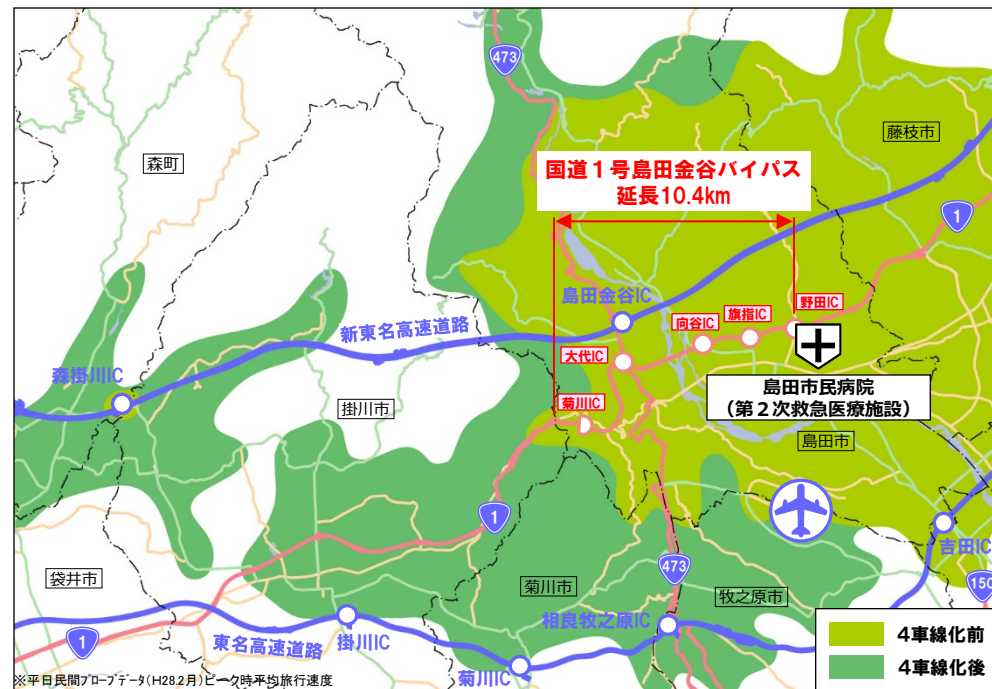
- 島田金谷バイパスの速達性・定時性の欠如により、救急医療活動を阻害。

2) 事業の投資効果

- 島田金谷バイパスの渋滞緩和に伴う、移動時間の短縮により、搬送時間の短縮、安定が図られ、地域の医療サービスの向上が期待されます。

1) 事業の投資効果

【島田金谷バイパス4車線化に伴う島田市民病院(第2次救急医療施設)からの30分圏域の変化】



【島田市消防本部の声】

- 新大井川渡河部は、暫定2車線で幅員が狭いため**渋滞時の緊急走行ができない状況**です。
- 特に緊急性の高い重大事故が発生した場合には、搬送時間を短縮することにより、**救命率向上に寄与し、傷病者への負担軽減**につながると考えます。

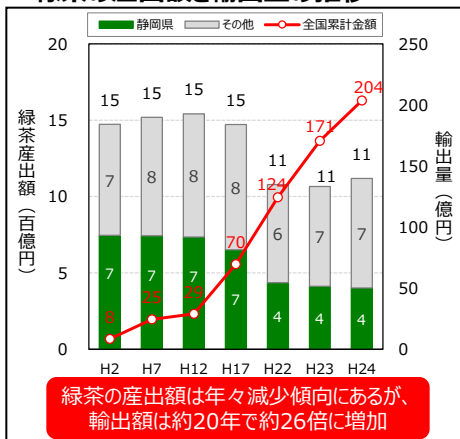


2.評価の視点(概要)【事業の必要性等に関する視点】

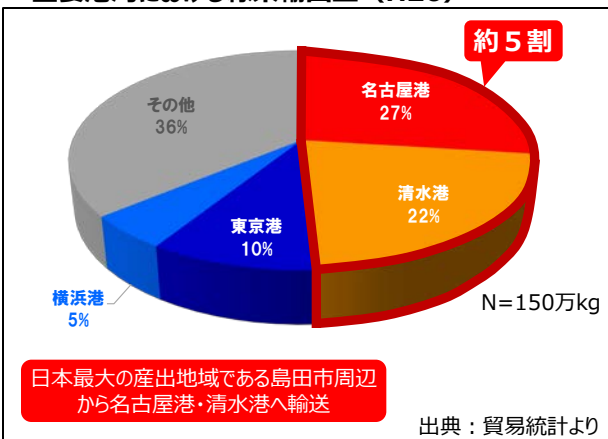
⑤ストック効果事例(島田市周辺市町が誇るお茶産業の円滑な輸送に寄与)

■ 近年、緑茶の輸出が増加傾向にある中で、名古屋港及び清水港の取扱量が全体の約5割を占めており、島田金谷バイパスの4車線化に伴う速達性・定時制の確保、周辺路線の混雑緩和が、生産拠点や島田市中心部に立地する製茶工場、輸出港湾間の物流活動の円滑化に寄与。

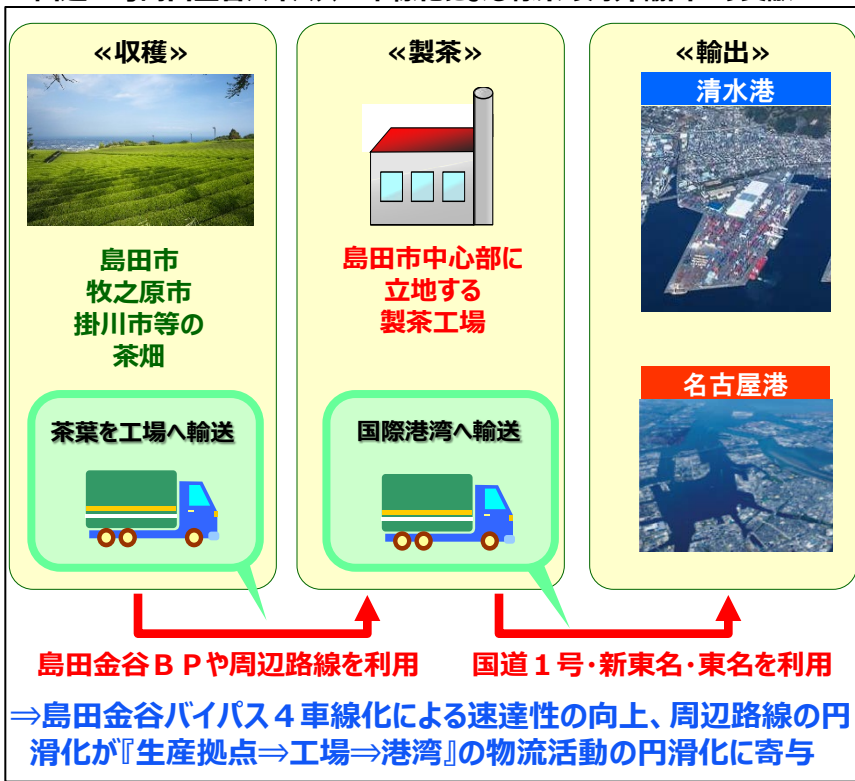
■ 緑茶の産出額と輸出量の推移



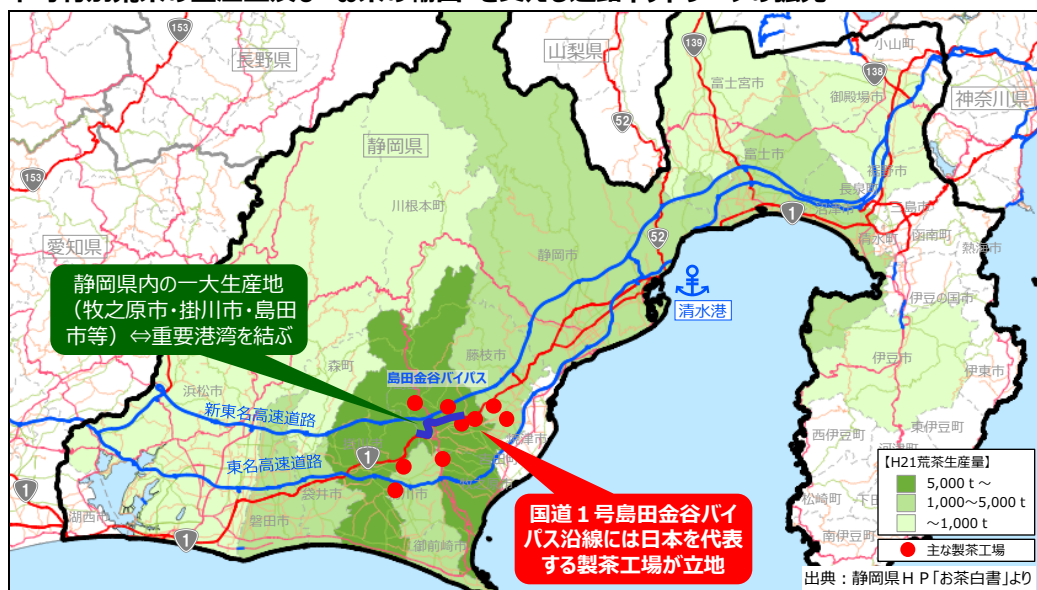
■ 主要港湾における緑茶輸出货量 (H26)



■ 国道1号島田金谷バイパス4車線化による緑茶の海外輸出への貢献



■ 市町村別荒茶の生産量及び“お茶の輸出”を支える道路ネットワークの拡充



「JA大井川によるロシア向け静岡茶輸出プロジェクト」

- 大井川JAと総合商社がロシア向けに共同開発した「生静岡茶」を輸出
- ロシア向けに輸出する「生静岡茶」は、大井川JAおよび袋井市の遠州中央JAの茶葉を原料



3. 事業の進捗及び見込みの視点

1) 事業の進捗状況

■事業進捗率は6%、用地取得率は35%に至っています。(平成27年度末)

2) 事業の進捗の見込みの視点

■平成24年度より、4車線化に着手しており、早期開通に向けて、用地買収及び工事を推進します。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■静岡県の意見

本事業は、県内の東西交通を担う国道1号において、朝夕に慢性的な交通渋滞が発生している島田市野田から掛川市佐夜鹿までの間の4車線化により、島田市街地と大井川渡河部の交通混雑の緩和や、沿線地域における物流の効率化を図るものであり、本県にとって重要な事業です。

引き続き、早期の効果発現に向け事業を推進するとともに、更なるコスト縮減が図られるよう併せてお願いします。

また、各年度の事業実施に当たっては、引き続き本県と十分な調整をお願いします。

5. 対応方針(原案)

■一般国道1号島田金谷バイパスの事業を継続する。